



なぜ

関東大震災で朝鮮人虐殺が なかったことにしたいの？

東日本大震災以前に起きた最大の地震・関東大震災(1923年9月1日)で多くの朝鮮人が虐殺されました。その事実を「嘘」だということをいう人たちが書籍を出したり、街の中で集まりを持って語りかけてきている場面に出会ったことはないでしょうか。なぜそのようなことをしているのでしょうか。目的は何なのでしょう。

加藤直樹さんにそのなぞを解いてもらうことにします。

日時:2020年3月1日(日) 午後2時から4時30分

場所:柳沢公民館 視聴覚室

講師:加藤直樹さん(ノンフィクション作家)

定員:80名(先着順)

参加費:100円(資料代)

問い合わせ先:阿部(電話 042-424-3410)

共催:市民自治井戸端会議 <http://www.idobata.tokyo.jp/>

西東京市公民館

*** 加藤直樹さんのプロフィール ***

ノンフィクション作家

著書に『九月、東京の路上で』

共著に『NO ヘイト!』他

翻訳にチェ・ギュソク作『沸点 ソウル・オンザ・ストリート』

*** 市民自治井戸端会議 ***

発足当初には市民文化会館（現在の「こもれびホール」）の建設に「バブルの館の構想だ」と異議を唱え、その渦中に「保谷ハイパー薪能」での不正経理問題に直面して、住民監査請求から住民訴訟へと会を挙げて取り組むなど、現実への取り組みも「手探り」で行なってきました。

市民自治井戸端会議は会員が関わっている課題を受けて、他の会員がその課題を共有し、それを会が応援するという形でさまざまな問題に対処してきました。

勉強したり（公民館市民企画事業）、映画会をやったり、行政へ意見や質問をだしたり、異議申し立て（住民監査請求や裁判も）をしてきています。

●年会費」1,000 円

●定例会：月に1回（第二日曜日）

●場所：西東京市内の公民館

人間一人、一人違いがあるのがあたり前、いろいろ意見交換、議論、情報交換しています。会員になってみようかなと思われる方はチラシの問合せ先までご連絡いただけると嬉しい！です。